

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部 土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 窪田彰 (都市河川係長 寒川美樹)	内線	4408 (4417)
------	--------------------	---------------------	-----------------------------	----	----------------

事業種目	河川事業	事業名	事業区間	総事業費	29 億円
		洗戎川水系 洗戎川 地震・高潮対策事業	西宮市前浜町～浜町	内用地補償費	6.1 億円
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度
西宮市前浜町～浜町				H19	H19
事業目的				事業内容	
当該地域は昭和25年ジェーン台風、昭和36年第二室戸台風など過去から甚大な高潮被害を受けてきている。現在、防潮樋門はあるものの高潮排水機場は未整備であるため、高潮対策事業により当該地域の浸水被害を防止し、地域住民が安全で安心して生活できる環境を確保する。				計画流量 11m ³ /s 計画流量(高潮) 9 m ³ /s 実施内容 L = 332.0m 護岸工L=64m、根固工L=695m、 暗渠工1基 防潮水門1基、排水機場1基Q=3.2m ³ /s 〔負担割合 国:3/10 ,県: 7/10〕	
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> 洗戎川の河口部には防潮樋門が設置されているが、高潮発生時に洪水を排水する高潮排水機場が未整備である。 市道幹第1号線暗渠工（BOX形状）の流下能力は計画流量11m³/sに対し約50%程度と低く、河川改修の必要性は高い。 高度に都市化した西宮市の密集市街地、市道幹第1号線等を浸水被害から防御するため、当該事業により早期に治水安全度を向上させ、地域住民が安全で安心して生活できる環境を確保する必要がある。 				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比 B / C = 6 . 6 防潮水門、高潮排水機場を既存防潮樋門設置位置より下流に整備して河道内貯留効果を見込むことによりポンプ規模を縮小している。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 護岸の補強については、多孔質の捨石工法を採用し、魚類等の生育環境に配慮した。 ヘドロ等の除去及び覆砂を行い、底質及び水質の改善を図る。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 西宮市内で高潮排水機場が未整備であるのは洗戎川のみであるため、事業の優先性は高い。 				